

# 文化財保存と活用2

－ 歴史遺産を現代にどう活かすか －

## 研究発表

### ◆「指定文化財への道のり～文化財を後世に伝え残すために～」

山内 公二 氏 (美夜古郷土史学校)

行橋市役所で41年間勤め、退職前の1年8か月間、教育部長として①稲童掩体壕、②旧百三十銀行行橋支店の保存、③御所ヶ谷神籠石の国指定区域拡大という大きな事業に取り組むことができました。私の体験から「市町村職員と文化財の保護・保存について」考えてみたいと思います。

### ◆「秋月博物館における資料の保存と活用」

佐々木 隆良 氏 (朝倉市秋月博物館)

秋月博物館は秋月黒田家伝来の武具・甲冑や秋月藩政時代の古文書及び「土岐コレクション」の日本画、洋画、書画、彫刻など幅広い文化財を所蔵しています。当館では博物館活動の収蔵品の公開や教育普及活動に資するために、収蔵資料の目録作成をはじめ、適切な保管、修復、温湿度管理、燻蒸、レプリカ作成等に努めており、その取組みについて概説します。

### ◆「史跡筑後国府跡の保存活用計画の取組」

園井 正隆 氏 (久留米郷土研究会)

平成31年の文化財保護法の改正により、現状の弊害や保存する意義の見直しを行いました。史跡筑後国府跡の保存活用計画及び久留米市における遺跡や文化財等が有する夫々の関連性をストーリー化して、地域住民と行政が共働して久留米市の歴史を魅力的にアピールする案を紹介します。

期 日 令和8年 **6月27日(土)** 13:00～16:20 ※受付開始 12:30

会 場 **福岡県立図書館** 地下1階レクチャールーム (福岡市東区箱崎 1-41-12)

定 員 **80名 (先着順・事前の申込が必要です)** ※申込用紙は裏面

参加費 **無料**

主催 福岡県教育委員会  
福岡県地方史研究連絡協議会 (福史連)

# 第 59 回福岡県地方史研究協議大会 受講申込書

【 申込締切 】 6月19日（金）※定員を超えた場合は締め切り前でも受付を終了します。

(ふりがな) お名前	( )		
※該当するものに○をしてください。		電話	
( ) 福史連加盟団体所属 ( ) 個人		FAX	
( ) それ以外の団体所属		Eメール	
所属施設・団体名を記入 [ ]			

★受講に関して配慮の必要な方は事前に御相談ください。

御記入頂いた内容については、当事業以外の目的で使用することはありません。

①②③のいずれかの方法でお申込みください。電話での申込は御遠慮ください。

① **FAX** : 092-641-1127  
この面をそのまま FAX してください。

② **インターネット** :  
[https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/page\\_20240416021328](https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/page_20240416021328)  
スマートフォンのカメラで QR コードを読み込み  
申込フォームから必要事項を入力してください。



③ **郵送** : 受講申込書に必要事項を記入して、下記に郵送してください。

〒812-8651 福岡市東区箱崎 1 丁目 4 1 - 1 2

福岡県立図書館 ふくおか資料室 地方史大会申込 宛

※申込が定員を超えた場合は、受講できない方のみ<sup>に</sup>御連絡します。

## <同時開催>

### ◆第 18 回地方史フェア（福史連主催）

福史連加盟団体の刊行物の販売等を  
レクチャールーム前のロビーで行います。  
開催時間 12 : 30 ~ 16 : 30

**お問合せ** 福岡県立図書館 ふくおか資料室  
福岡市東区箱崎 1 丁目 41 - 12  
TEL 092-641-1126 (直通)  
FAX 092-641-1127



- ・地下鉄「箱崎宮前」駅から 徒歩 2 分
- ・J R 九州「箱崎」駅から 徒歩 10 分